

【平成26年度】

酪農経営安定対策補完事業（拡充）

1 事業の目的

酪農ヘルパーの人材育成、傷病時利用の円滑化や酪農ヘルパー利用組合の強化を推進するとともに、牛群検定による長命連産性の改良に関するデータの収集、分析、未經産雌牛の遺伝的能力評価の実施やその有効活用を支援することにより、酪農経営におけるゆとりの創出や生産性向上を図る。

2 事業の内容

(1) 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（※事業実施期間：平成26～28年度）

- ① 酪農の担い手となる酪農ヘルパー人材育成支援（新規）
 - ア 酪農後継者や新規就農を希望する酪農ヘルパー向けの研修、他団体等が実施する研修への参加を促進する。
 - イ ヘルパー確保のための募集の取組、雇用前研修、実践研修を支援する。
 - ウ 酪農後継者等の臨時ヘルパーとしての出役を支援する。
 - エ 業務拡大に必要な免許取得を支援する。
 - オ コントラ等支援組織との連携による臨時ヘルパーの確保について支援する。
- ② 傷病時の酪農ヘルパー利用の円滑化（拡充）

傷病時（病気、事故等）にヘルパーを利用する場合の利用料金を軽減する対象に「育児サポート」を追加する。
- ③ 酪農ヘルパー利用組合の強化等（拡充）
 - ア 収益改善のための経営診断、収支改善計画の作成、広域利用調整やコントラ等支援組織との統合等を支援する。
 - イ ヘルパーの傷害補償保険、損害賠償保険の加入を促進する。
 - ウ 家畜防疫対策に係る計画策定、防疫機器等の整備を支援する。
 - エ 利用実態等調査、優良事例発表会等を実施する。

(2) 牛群検定システム高度化支援事業

- ① 生産寿命・繁殖成績の向上

生産コストを低減する長命連産性に関する改良を図るため、肢蹄に関する遺伝的能力評価精度の向上に必要な画像情報による肢蹄状況データ等を収集・分析する取組を支援する。
- ② 遺伝子情報を用いた遺伝的能力の向上

未經産牛等の遺伝子情報を用いた遺伝的能力評価（ゲノミック評価）の実施のために必要なサンプルの収集や検査等の取組を支援する。
- ③ 乳用雌牛を活用した収益の向上

収益性向上を図るため、後継牛生産に適さない低能力の乳用雌牛に黒毛和種受精卵を移植する場合、受精卵移植経費の一部を助成する（70,000円/頭上限・補助率1/2以内）。

3 事業実施主体（1）都道府県団体、（一社）酪農ヘルパー全国協会

（2）都道府県団体、（一社）家畜改良事業団、（一社）中央酪農会議

4 所要額（補助率） 1, 284百万円

うち（1）771百万円（定額、1/2以内、2/3以内）

うち（2）513百万円（定額、1/2以内）